

松尾地区地域審議会会議録

会 議 の 名 称		松尾地区地域審議会（平成 25 年度第 2 回）	
開 催 日 時		平成 25 年 9 月 27 日（金）	開会 15 時 00 分 閉会 15 時 50 分
開 催 場 所		山武市役所車庫棟 2 階 第 8 会議室	
議 長 氏 名		奥田 政美	
出 席 者 氏 名		別添出欠席者名簿のとおり	
欠 席 者 氏 名		〃	
事 務 局 氏 名		〃	
会 議 事 項	議 題 (1) 地域振興基金運用計画（案）について (2) その他	会議結果 (1) 平成 26 年度及び平成 27 年度の地域振興基金運用計画が承認された。 (2) 次回の松尾地区地域審議会の開催予定と、その審議内容について、事務局から報告した。	
会 議 の 経 過			
会 議 資 料		・ 地域振興基金運用計画書（案） ・ 意見書	
そ の 他 必 要 事 項			
会 議 録 の 確 定			
確 定 年 月 日		署 名 委 員	
平成 26 年 3 月 31 日		周 東 慶 幸	
		古 川 栄	

出 欠 席 者 名 簿

松尾地区地域審議会委員		
職 名	氏 名	出欠
奥田会長	奥 田 政 美	○
副奥田会	大 津 秀 夫	○
委 員	小 棚 昌	○
委 員	古 谷 和 明	×
委 員	萩 本 稔	×
委 員	齊 藤 澄 子	○
委 員	地布久 勝 夫	×
委 員	鈴 木 超	×
委 員	土 屋 秀 雄	○
委 員	野 中 学	○
委 員	秋 葉 利 一	○
委 員	大 橋 一 雄	×
委 員	押 尾 虎 夫	○
委 員	周 東 慶 幸	○
委 員	古 川 栄	○

執行部・事務局		
所 属	職 名	氏 名
企画政策課	副主幹	加 瀬 英 男
企画政策課	企画係	太 田 智 之

出席職員数 2名

出席 10名 欠席 5名

(会議経過)

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	それでは、定刻になりましたので、平成 25 年度第 2 回松尾地区地域審議会を始めさせていただきます。 私は、この会議の進行を務めさせていただきます、企画政策課副主幹の加瀬と申します。よろしくお願いいたします。 はじめに、本会議の出欠席者の報告をさせていただきます。 定員 15 名のところ 10 名の委員の出席をいただいております。 地域審議会設置に関する協議第 8 条第 4 項の規定により、委員の出席が過半数を超えておりますので、本日の会議が成立いたしますことをご報告させていただきます。 また、本日は、議事録作成の都合上、会議内容を録音させていただきます。大変申し訳ありませんが、ご発言の際には、必ず挙手のうえ、議長の指名を受けたのち、お名前を述べた上での発言をよろしくお願いいたします。 それでは、お手元の会議次第に従いまして進めさせていただきます。はじめに、奥田会長よりご挨拶をお願いいたします。
奥田会長	では、私からご挨拶申し上げます。本日は平成 25 年度第 2 回松尾地区地域審議会ということで、皆様方には大変お忙しい中ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。 第 1 回目は 7 月に開催しており、松尾出張所の跡地利用の問題と、それからこども園の統合について審議しました。第 2 回目である今回は、先ほどの全体会でご説明いただきました 2 つの事業について、地域振興基金運用益金の活用が適当であるか否かについて審議します。それでは、会議次第に従って会議を進めたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。
事務局	それでは、次第 3 の議事に入ります。 地域審議会の設置に関する協議第 8 条第 2 項の規定によりまして、奥田会長に議長をお願いいたします。 奥田会長、よろしくお願いいたします。
奥田会長	それでは、本日の議長を私が務めさせていただきます。まず、この会議の議事録署名委員でございますけれども、山武市松尾地区地域審議会運営要綱第 2 条の規定による会議録の署名委員 2 名を指名させていただきます。今回の署名委員は、周東委員と古川委員にお願いいたしますので、よろしくお願いいたします。 (周東委員、古川委員の了承あり。)
奥田会長	それでは、議事に移ります。地域振興基金運用計画(案)について、まずは事務局の方からご説明をいただきます。よろしくお願いいたします。
事務局	はい。企画政策課の太田と申します。よろしくお願いいたします。 私から、地域振興基金運用益金対象事業運用計画書案(以下「運用計

	画書案」とする。)について、ご説明いたします。 先ほどの全体会で、地域振興基金の運用益金を活用した、平成 26 年度及び平成 27 年度の 2 つの事業についてご説明しましたが、この会議では、各事業に対しての、松尾地区地域審議会としての意見を、事業ごとに意見書としてまとめていただくことになります。次第にお付けしております書式、ホチキスで留められている書類になります。こちらの 1 ページ目の裏面と 2 ページ目ですね。こちらの書式が、意見書となっております。ご覧いただければお分かりになるかと思いますが、審議結果として、その事業が「適当である」、または「適当でない」のご判断をいただき、その理由を理由の欄にまとめていただくことになります。例えば適当であると判断した事業の理由欄には、地域振興に寄与する事業として認められる」等が考えられ、また適当でないと判断した場合には、その要因について具体的な理由を書いていただく必要があります。なお適当であるに丸を付けて「実施内容のうち、こちら〇〇の部分については、より有効な手法を検討していただきたい」等の意見を付することも可能です。 また今回の計画書は、あくまでも平成 26 年度から平成 27 年度までの計画となっており、ご意見をいただくのはこちらの 2 ヶ年度分についてということになります。本日、各担当部署からご説明をさせていただきましたが、その内容を踏まえ、まずは 1 つずつ、各事業について、皆様でご議論をいただきまして、意見をまとめていただきたいと思います。ご意見がまとまりましたら、そちらを事務局で読み上げさせていただいて、ご承認をいただき、その内容で意見書を作成し、提出することとさせていただきます。 なお、ご意見のまとめ方といたしましては、事業ごとにまず「適当でない」というご意見があればお伺いして、特になければ「適当である」として、その理由についてまとめるという順に進めていただくのが、スムーズであるかと思われますので、よろしくお願いいたします。以上で説明を終わります。
奥田会長	はい。まず、「さんむスプリングフェスタ実行委員会補助事業」について審議いたします。先ほどの全体会で担当課から事業内容について説明を受けたため、皆さんも事業の概要を把握していただいていると思います。それでは、ご意見をお伺いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
押尾委員	はい。
奥田会長	はい、押尾委員どうぞ。
押尾委員	押尾と申します。私は最近、松尾駅の掃除をしているのですが、ゴミの問題が少し気になっております。担当課の説明の中でも、ランニングコース、特に海岸の整備というお話がありましたが、コース内のゴミがどうも気になることです。

押尾委員	それと、蓮沼の南浜に入る辺りに歓迎の看板があるではないですか。鉄製の。凄く状態が悪くて、塗装が剥けているのですよ。みっともないから、塗り直すとか、撤去するといったことは検討されているかどうかというのを、確認してもらいたかったのですけど。
奥田会長 事務局	よろしいですか。 はい。道路の上にかかっている「ようこそ蓮沼」とか「南浜海水浴場へ」といった様な文言が書かれたアーチ状の看板ですか。それが剥げているからというところで、この事業をやる前に塗り直せたら良いということですね。
押尾委員	それを去年、私が農商工・観光課にメールで送り、その後文書を書いて写真付きで送ったのです。というのも、去年の秋、蓮沼海岸の方をジョギングに行ったのです。そうしたらゴミが散乱していたので、毎日3時間ほど掃除をしたのです。その最中で看板に気付いたので、どうにか直してくれないものかと思ったのです。その後行っていないものですから、今はどうなっているのかと。
事務局	この事業の中での修繕は難しいと思いますが、多分何年かに一度塗り直していたと思います。二基ほどありましたよね蓮沼に。そういう看板が。アーチ状のやつが。それで、それを何年か毎に交代で塗り直していた時期もあったので、もしかするとその塗り直しの間の時期で、一番酷いところを見たのかもしれないですけど。観光担当の方に話をしてみます。
押尾委員	あと、ジョギングのコース上のゴミですね。走るコース上のゴミはどうかかなと。整備というか、凸凹を直すとか、平らにするとかという話は出たのですけど、要するに落ちているゴミを、きれいにした方が良いのではないかと。
事務局	事前にコースの下見等をすると思うので、その際、気がついた部分については、ある程度きれいにしていくとは思いますが。その辺を心配されている委員さんがいたということで、担当課の方へお伝えしておきます。
奥田会長	それでは、今、押尾さんの意見がございましたけれども、その件については担当課の方へ事務局の方でお伝えいただきたいと。
事務局	お話ししておきます。
奥田会長	よろしくお願いします。
齊藤委員	次、齋藤委員どうぞ。
齊藤委員	齋藤です。第1回目として、平成26年3月9日にジョギングと植樹祭を抱き合わせで実施するということですね。
事務局	はい。 植樹祭はこれまで3回実施していますね。私は第1回から全て参加させていただいているのですけど、第1回は非常にたくさんの人が集まりましたが、第2回、第3回と参加者が減っていきました。第2回の時に

	は、露店が出たりしていましたが、やはり参加者がだんだん減少しているわけです。植樹する樹木は黒松と書いてありますけれども、津波に強いタイプのものを全部取り分けて、５種類ほどを植えたのです。結局、ジョギングに抱き合わせたということは、植樹祭の参加者を増やす方向にもっていきたいという教育委員会の考えですかね。
事務局	そうです。興味を持ってくださる方を増やそうという考えだと思います。
齊藤委員	そうですね。恐らく、津波対策ということもあって、とにかく海岸線の緑化を進めようということで、今まで実施してきたわけですね。
事務局	現状を見ていただいて、ジョギングに興味のある人が、植樹には興味がなかったけれども、ジョギングに参加するついでに植樹に参加してもらえとか、逆に植樹に来る方々に、ジョギングによって違う楽しみを見つけていただくというところも、兼ねてのことだと思います。
齊藤委員	そうですね。ですから人手がいるのですよね。本数を用意しているのに参加者が少なくなってしまうと、一人あたりの植樹本数が多くなってしまい、昨年の第３回では顕著でした。ですからこれは、こういう形であっても実行するしかない事業だと思います。
事務局	はい。
齊藤委員	終わります。
奥田会長	山武市の苺を観光 PR する方法というのは色々あるのでしょうか。山武市成東観光苺組合の関係は経済環境部の農商工・観光課が担当しているようですが、この事業に関しては、たまたま教育部の生涯学習課が、いちごを配布する「いちごジョギング」と、今まで実施していた「植樹祭」をセットにして実施するという事業を企画したわけですね。
事務局	そうです。
奥田会長	ですから、事業の担当課としては、教育部が良いのか、経済環境部が良いのかわかりませんが、やはりその達成すべき事業内容は良いものであるように進めていただきたいと思います。
事務局	はい。
奥田会長	この事業に関してその他ご意見等ございますか。
	はい、野中委員どうぞ。
野中委員	野中です。この事業の中では、非常に良い内容を組み合わせているのですが、ただ、押尾委員がおっしゃったとおり、コースになっている道路の１つ１つに、整備が必要である箇所も見られます。今年の８月末に海岸へ行ったのですが、我々が昔見た海岸は本当に白砂青松であったのです。しかし、知ってのとおり海岸の砂も随分黒くなっているのですよね。市内外から来たお客さんが、ああ素晴らしいな、と思ってくだされば、次は蓮沼の民宿にも泊まるでしょう。そういうことを見据えて、このイベントの最後にアンケートを必ず取っていただいて、その結果を翌年の事業実施に活かして少しずつ悪い点を改善すれば、やはり山

奥田会長 事務局 奥田会長 押尾委員	武市蓮沼のさんむスプリングフェスタは良いなと思っていただけると。私の希望としては、事業内容を更に一段と良くするために、アンケート調査を実施するようお願いしたいと思います。 はい。 担当課にお伝えさせていただきたいと思います。 押尾委員どうぞ。 何度も失礼します。押尾です。市をアピールするということなので、今回は、観光協会さんが入っているのですが、参加した人に、例えばジョギングに参加した人に、植樹祭もやっていますよという告知というか、東日本大震災によって津波の被害を受けた松林を再生しますので、という内容の小さいパンフレット等を作って配布したらどうかと思いました。あと、私もさんむロードレース大会によく出場したのですが、やはりその地区の観光チラシを封筒に入れて参加者に配布しているのですね。参加した人が封筒を開けると、味覚狩り等のパンフレットが入っているのです。また、苺とありますけれども、市内には梨やブルーベリーや柿を作っている人もいるわけで、味覚狩りに絞っても色々な果物があるではないですか。そういうパンフレットを渡してあげることが、観光PRに繋がるのではないかと思います。それは予算的には、別に印刷したものがあれば、ただ封入するだけだから、多額の必要はないなど。
奥田会長 事務局	はい。 申し訳ありません。担当課に伝えるという回答ばかりで大変申し訳ないのですが、そのような形で繋ぎたいと思います。
奥田会長 古川委員 奥田会長 古川委員	担当課へお伝えするという事で、よろしく願いいたします。 奥田会長。 はい、どうぞ。
奥田会長	古川です。今は、適当である又は適当ではないと判断する審議ですから、適当でないというものに意見を出してもらいましょう。今お聞きした話は、担当課や実行委員会にお話していただくということで。時間的にきりがなくなってしまうのでお願いします。
奥田会長	はい。それでは、他にご意見有りますか。 では、何人かの委員にご意見を頂きましたが、この「さんむスプリングフェスタ実行委員会補助事業」について、適当であるか否かという審議をするのですね。
大津委員	そこに焦点が行かないとね。だから適当若しくは適当でないということを発言していただかないと、意見や質問は無駄になってしまうよね。時間もかかってしまう。とはいえ今までの意見は、賛成という前提に立った要望事項ですからね。適当であると受け取って良いのではないでしょうか。
野中委員	適当である。 適当であるが、1点だけ留意していただきたい。私は実施すること自

小柳委員	体には賛成ですが、問題は、参加者を3千人と想定していますよね。その場合、恐らく同時にスタートすると思うのですよ。ジョギングにしても、植樹祭にしても。これは、協力団体からどれだけのボランティアが出てくれるかということが問題ですよ。イベント後の後片付けも含めて。そうすると、1団体から5人が出てくださるとしても、たかが知れた人数ですよ。ジョギングのスタート時間帯等、その辺は聞いていませんが、もし、全コースが同時にスタートすると仮定した場合ですよ、相当な人数のスタッフがいないと、対応出来ないと思うのですよ。安全面からしても。当然、山武市防犯協会等の団体がコース上に立っているのですが、仮定として、3千人という人数が参加した場合、ちょっとやそっとのスタッフ数では、運営上、安全上の問題があるのではないかと。事業内容自体は決して悪いことではないのですから良いのですが、ボランティアの参加人数として教育委員会でどれほど見込んでいるものなのか、その辺を後でお伺いしたいと思います。
古川委員	さんむロードレース大会では100人単位ですよ。
奥田会長	実施の段階で、先ほども出たように、安全上の問題を十分配慮するという、その…
事務局	意見があったということ。
奥田会長	加えておいてください。
事務局	はい。
奥田会長	ではそういうことで、(1)「さんむスプリングフェスタ実行委員会補助事業」につきましては、適当であるというご判断でよろしいですか？
奥田会長	(「はい」の声あり) 賛成の方は挙手をお願いします。 はい、全員賛成。ではありがとうございました。 それでは、次に移ります。
野中委員	ちょっと失礼します。
奥田会長	はい、どうぞ。
野中委員	「適当である」とした理由を付け加えなくて良いのですか。
奥田会長	というのは。
野中委員	ただ「適当である」の中に理由を、例えばいま我々が話した中で、付け加えておかなくて良いですか。
事務局	例えば、「地域振興に寄与する事業と認められる」賛成の理由として、「認められます」とか、そういう理由を考えていただけると、よろしいかと思います。
奥田会長	だから、これは今、申し上げました通り、皆さんからご意見いただいたわけですけど、適当であるかどうかということで、審議すれば良いわけでしょ、結果的に。
古川委員	これからのことだからね。

小槲委員	これから具体的に当然なってくるでしょうからね。詳細な部分については。
奥田会長	細かい、具体的な問題は別の問題なのだけど。
大津委員	理由を書かなきゃならないから、これこれこういうわけであるということを書きちゃんと確認した方が良いのではないかと。
野中委員	多数参加が得られるので、要するにスタッフを各団体で確保するか、そういうのを書いていただくように。
押尾委員	今、私たちが言った意見をまとめて書けば良いではないですか。
秋葉委員	はい。一番最初に生涯学習課長が話したのは、目的として、青少年育成のためということと、地域の大人が子どもに関わりながら、見守り、といったかな、ちょっとわからないけど。もう1つは、震災復興の3点を主な目的としてやるのだということをお話したと思うのですね。皆さんおっしゃるのは、例えば、青少年育成のことは出てこなかったけれども、震災復興のこととか、地域の色々な活性化ということは、多少なりとも変わってきていると思うのですよ。その1点でも2点でも良いわけでしょ、その理由はね。だからそこをまとめて頂ければ良いのではないですか。
小槲委員	そうですね。
野中委員	その他で私は、あくまでも、終わって最後にアンケート用紙で、簡単なことでも、特に外から来た人なんかで、いただくと良いのではないかなということ、その他で付け加えていただくと有り難いと思います。
事務局	はい。分かりました。
齋藤委員	これ、青少年育成市民会議が主催なので、もう基本は、青少年育成なの。
古川委員	教育委員会だからね。
齋藤委員	はい。それがベースにあって、その人たちがみんな役員を務めている、そういう組織。
小槲委員	植樹した樹木に名前でも書き込めば頻繁に来るのでは。木がどうなっているか、管理を考えてさ。
秋葉委員	そうですね。これ、来年の3月に初回実施ですよ。その後の2回の開催について、今審議しているわけだから、結局3回できるわけですよ。
小槲委員	山武杉の板か何かに、個々に名前書いてもらって、木に下げとくとかさ。愛着をもつじゃない。
秋葉委員	それは提案の中に。植樹に際しては、参加者の…
事務局	注意を持ってもらうとか、参加してもらった人が意識を木に持ってもらえるような方策を何か考えたらどうか、ということですよ。
小槲委員	意識向上を図る上ではね。場合によっては、来て周りの草を刈るかもしれないし。
事務局	継続的になにか思ってもらえるような方策ということによろしいです

齋藤委員 奥田会長 事務局 押尾委員 事務局	か。 それね、何回か草刈りもやっているのです。 意見を要約して書くのですか。 ええ、何か書いていただけるとうちの方もありがたいのですが。 理由は個々に書くのですか。 いえ、松尾地区地域審議会委員の皆さん全員の意見として一枚入れるような形になりますので。
押尾委員 事務局	個々の委員が話したではないですか。賛成なのだけど、こういうふう にやったらどうですかっていうのを個々に言ったではないですか。 その辺は、その他の意見の中で、担当課の方へお伝えしたいというところ で。
押尾委員 事務局	それは理由付けにはならないですか。 はい、どちらかといえば、青少年育成の關係に寄与するとか、育成の 方面から見てこの事業は適切ではないかとか、何か、そういうような形 の意見が付けば。観光も併せてではあるのですが、委員会系で青少年と いうところもあるので、そういう面でも寄与するということで上がって くれば、それはそれで大丈夫です。特にどうでなければいけないという ことはないのですけど。
小槲委員	実行委員会をやるからには、その辺はしっかり把握してなければ駄目 なのだろうからさ。
奥田会長 事務局	ではそこへ、一応文書として理由を書かなければいけない。 何か、観光であったり振興であったりというところに寄与出来ると考 えられるから、良いですというような。今、お聞きした中で、事務局の 方でまとめてみた案を読ませていただいても…
奥田会長 事務局	はい。 事業名「さんむスプリングフェスタ実行委員会の補助事業」に関して は、松尾地区の地域審議会としては「適当である」ということで、理由 としましては「青少年の育成に寄与する事業であると認められる」とい うことで。その他の意見といたしまして、「走路のゴミをきれいにする」 「人が沢山集まるようにしっかりPRをする」「アンケートを実施して次 回に反映させる」「イベント（ロードレース等）にスプリングフェスタの パンフレットを配布して十分にPRをする」「イベントスタッフの数を十 分確保して、安全に配慮をする」「植樹に際しては、氏名等を記載して興 味を持って頂くようにする」というようなことを、担当課の方に伝えさ せていただきます。あと、担当課が違うのですが、押尾委員から看板に ついてご意見いただきましたので、そちらは農商工・観光課にお話をさ せていただきますので、以上という形でまとめさせていただいてよろし いでしょうか。
奥田会長 事務局	よく出来ました。 ありがとうございます。

奥田会長	それで、今のまとめでよろしゅうございますか。 それでは今の（１）については終了ということで、ご理解ください。 ありがとうございました。 それでは、次に移ります。２番目の「看護学生奨学金貸付事業」ということで、今回ご提案をいただいていますので、よろしくお願いをいたします。事務局からちょっと付け加える話を。
事務局	担当ではないので、細かい説明ができないという事情があるもので、申し訳ありません。
奥田会長	主旨については先ほど、担当の方から説明を受けたとおりでございますけれども、これについて何かご質問ございますか。
秋葉委員	はい。
奥田会長	はい、どうぞ、秋葉委員。
秋葉院	制度自体は継続のことなのだし、前回承認して、今回もある程度の成果が出ているということで、賛成したいと思います。
大津委員	継続事業ですから。効果が出ているということで、継続を認めるということ。
奥田会長	他に意見ございませんか。
	良いですか。
大津委員	良いです。
奥田会長	では、これは継続事業ということだそうですから、それなりの効果が出ているということで、継続が妥当だということで、まず承認で良いと思います。
	承認をされる方は挙手をお願いします。 （「はい」の声あり）
奥田会長	はい、ありがとうございました。理由については…
事務局	参考に、こちらでまとめた理由を読み上げさせていただきます。理由としましては、「地域医療の充実、看護師不足の解消に資する事業であり、地域振興に寄与するものと認められる」ということでいかがでしょうか。
奥田会長	はい、ではそういうことで、よろしくお願いします。
事務局	はい。わかりました。
野中委員	それはそれで良いですけど、東金市は奨学金の額が月 10 万円なのですね。5 万円の他に病院側で奨学金を出すということはあるのでしょうか。
秋葉委員	病院も出しているみたいですよ。病院が 10 万円出しているという。
野中委員	病院が 10 万円出しているのですか。
秋葉委員	いや、100 万円か、10 万円ではなくてね、年間 100 万円。
野中委員	5 万円プラスそれをやっているわけだ。わかりました。よく聞こえなかったの。東金市では確かに一人奨学金 10 万払っているよと、市だけで。ではわかりました。ありがとうございます。

奥田会長	では、一応ご提案をいただきました議事については、それぞれご承認をいただきましたことをご報告いたします。ありがとうございます。
事務局	事務局から他になにかございますか。
	よろしいでしょうか。ご報告をさせていただきます。今年の7月、第1回目の松尾地区地域審議会の中で、松尾の賑わいという中でお話を聞いていただきまして、ご意見をいただいた中で、基本設計に入ったところでございます。この9月末で基本設計が一応形になりましたので、その説明を10月中に、松尾地区地域審議会委員の皆様にお手数ですがもう一度集っていただいて、状況をご説明させていただきたいと思えます。それに先立ちまして、松尾地域賑わい空間創出研究会という形の中で、賑わい空間の新しい施設を検討してもらっていた経緯もございますので、10月14日の予定としましては、松尾地域賑わい空間創出研究会で1回ご説明させていただいて、その後、松尾地区地域審議会の日程を調整する形で進めさせていただきたいと思えます。これについては、10月18日までの中で、奥田会長と日程を調整させていただいて、お知らせしたいと考えております。10月18日、19日という中で、松尾庁舎周辺、今度は近隣の住宅になりますが、そちらの方にこれから解体工事とかが入ってくるものですから、その辺の説明会等を、18日の夜と19日に予定しております。それが終わりますと、11月中旬頃から解体工事が始まっていくと思えます。最終的には、来年の7月くらいから、新施設の工事ができればと考えております。これについては、次回の松尾地区地域審議会の中でご説明させていただきたいと思えますので、よろしく願いいたします。以上です。
奥田会長	基本設計の正式な名前は。何の基本設計というのですか。
事務局	賑わい空間創出事業…
奥田会長	そういう難しい名前の基本設計というのは、その中に前に言った、資料館だとか中のそういうあれを…
事務局	その建物をどうやろうと…
奥田会長	…の基本設計をやるということですか。それを18日前後に。
事務局	はい。そして、基本設計後、更に詳しく内部を詰めるための実施設計を行います。
奥田会長	そうですか。それで松尾地域賑わい空間創出研究会は。
事務局	14日を狙って。
奥田会長	それ以降にここの地域審議会では説明をすると。
事務局	はい。日程が短くて申し訳ないのですが、18日くらいまでの間で、もう一日だけ日程を頂いて、地域審議会でご説明させていただければと考えております。
奥田会長	わかりました。
大津委員	14日は夜ですか。
事務局	14日は午前10時頃を予定として考えています。。

奥田会長	わかりました。
事務局	それと、今日、名簿を貰ったのですが、新しい人が入ったのですか。古谷委員と萩本委員というのは。
奥田会長 秋葉委員 奥田会長 秋葉委員	よろしいでしょうか。ご報告が遅くなって、大変申し訳ありませんでした。今、お話のあった、古谷和明様、そして、萩本稔様につきましては、選出母体の松尾中学校のPTAと山武市区長連合会の方で役員交代があったということで、その替わりという形で、選出させていただいております。 引き継ぎはしてもらいたいところですね。 すみません。良いですか？ はい。 お知らせがあるのですが。地域振興基金の運用益の対象事業運用計画書というのが、中に入っているのですけれども。その中で一番下に、市民提案型交流のまちづくり推進事業という、各団体が30万円とか50万円の補助金を貰うという事業があって、私はその審査委員をやっております。先日連絡があって、10月7日に平成26年度と平成27年度分の審査会を開催するとのことでした。内容はまだ来てないので分からないのですけど。そういうことがありますので、お知らせだけです。
奥田会長 大津委員 事務局 奥田会長	はい。 運用益はかなり下がっているのですか。 利率が結構下がっていますので、今ギリギリのところですね。 今思ったのだけど、運用益の28億円って、当初、平成18年度の合併当時の元金というのはいくらだったのですかね。後でもいいです。
事務局 秋葉委員 大津委員 事務局	わかりました。 運用益自体は1億1600万円ですよ。 当初の投資してある金がいづらかということですね。 基金の金額としては、10億円ずつ、平成18年度と平成19年度に積んで、平成21年度に7億円程積んでいますね。そうすると約27億円でしょうか。そして、利息が年度付いていますので、合計すると約28億という数字です。
秋葉委員 事務局 奥田会長	元金は減らないけど運用益が減ってきているということですよ。 はい、利息が減ってきているので。 では、一応そういうことで、今回の会議は。それではこれで、今回ご提案をいただきました審議が全て終わりましたので、会議を終わりたいと思います。ありがとうございました。
	終わり

